

# こすもす通信



No.141

2016年7月 コスモス会  
〒880-0805  
宮崎市橋通東2丁目4-6 古賀ビル2F  
Tel&Fax 0985-89-0336  
E-Mail [cosmos-ciao@jupiter.ocn.ne.jp](mailto:cosmos-ciao@jupiter.ocn.ne.jp)  
<http://miyazaki-cosmos.jimdo.com/>

## 7月例会を開きました。

6月に通信がありませんでしたので、5・6・7月の例会・総会の経過も含めてお知らせします。

毎回いつものように新しい方が見え、日々の思いをゆっくりと話されました。そしていつものようにみんなでじっと耳を傾けました。そのことによって新しい方ももう少し深く自分の思いを話し、また、それで他の親たちの思いも深まって、という時間です。この、「いつものように」という会が途切れることなく20年以上続いてきた、ということにあらためてみんなが思いを致したここ数回の例会となりました。

最初からの人も、途中からの人も、時々の方も。そして、「卒業」した人も。当事者ではないけれど大会の手伝いを頼まれたことによって会を知り、今は自分の人生の原点、立ち位置を確認するために参加する、手伝いをし続ける、人も。コスモス会から新たに生まれた会を運営する人も。これからのコスモス会の在り方について、皆さんの思いが出されました。

その中で、「例会」が始まりの核であり、これを大切に続けていきたいという思いはみんなの気持ちであることが分かりました。その他の事については例会の中で検討していけたら。例会を続けていく、そのためにはどうしたらよいか、役割、仕事の分担など、今話し合われています。当面は、例会のお世話と通信発行を月交代にするということになりました。

風に揺れながら咲くコスモスです。優しく、しなやかに、この状況を新しい風にしてゆくために、皆さんの力をお貸しください。



## 子どもが学校に行かなくなったとき ②

会に来られる新しい方の子どものさんは、不登校、いきしぶりになったばかり、という方がほとんどです。原因は何か、対策はどうすれば、という子どもさんとの関わり以外に、学校とどう関係を保つか、その上にもご近所さんや親せき、知り合いにどう向き合えばいいのか、夫婦の意見の違いも出てきたりして、どうにかなりそうな毎日を送っているのです。

これに問題解決の正解はあるのでしょうか。このことをいつもみんなと一緒に考えます。

正解があつたらいいのですが。

ただ、今は、その後の、家族の笑顔で過ごせる話や、みんなで笑いあえる時間がある例会です。

(今年「戦後」71年の夏を迎え、会員の前田さんに体験や思いをつづっていただきました。)

## ～戦争は悔しい涙～

宮崎県宮崎市 前田千恵子 82才

### ■蹂躪(じゅうりん)された命の尊厳

日本は何のために、あんなに悲惨な戦いを引き起こしたのでしょうか。

終戦の年の昭和20年、私は12才でした。父はすでに戦地の沖縄で従軍していましたが、残された家族は、召集前に県の職員をしていた父の転勤で移った宮崎県の延岡市に住んでいました。ここは工場の多いところで、軍事工場があることから、6月29日に大規模な焼夷弾攻撃を受けました。

時刻は覚えていませんが夜だったと思います。心臓をぎゅっとつかまれるような警報のサイレンとともに、山の共同横穴防空壕に駆け込みました。そこには20人くらいが避難していたと記憶しています。近くに飛行機の爆音がしたかと思うとシュー、ドーン、ドーンと焼夷弾の音が聞こえてきます。私たちは怖くて声もたえず、肩を寄せ合って一夜を明かしました。

警報が解除になり、外に出てみるとみんな呆然としました。家のあった場所は、一面焼け野原。半数以上の人は帰る家もありません。私の家は、山のふもとにありましたのでなんとか助かりました。早速、被災者受け入れの割り当てがあり、私の家にも3家族10人くらいが来られたと記憶しています。お互い様であり、幸い部屋数に余裕のある家だったので窮屈な思いはしなかったのですが、朝のトイレの込み合いに困ったのを思い出します。

家は少し高めのところであり、田んぼ越しに国道がよく見えます。玄関の前に立っていると一台の大型トラックがゆっくり走っていきます。荷台に見えた光景は異様なものでした。風に揺れるシートの下には黒焦げになった人の死体が山積みになっていたのです。死体にかけてられた薄汚れたシートとムシロ。人間の命が粗末に扱われることに大きなショックを受けました。トラックが向かった先は、延岡のはずれにある火葬場だったと思います。その後も、2台、3台と死体を乗せたトラックは通っていきました。そこで目にしたことは、自分の胸の中に仕舞い込み、母だけにしか話せませんでした。戦後70年経ったつい最近まで、このことは誰にも言いたくありませんでした。しかし、昨年、宮崎市で戦争体験を話す機会があり、戦争の悲惨さや不条理を伝えるために、初めて話しました。

ある時、いつものように昼間に空襲警報が出て、防空壕に駆け込みました。警報は何度聞いても慣れることはなく、恐怖心で身が縮みます。直後に山のほうから下りてきたグラマン機が機銃掃射をし、壕の入り口前で逃げ遅れた女性が撃たれてしまいました。その場に倒れこんだ様子が今でも目に焼き付いています。グラマン機が去った後、壕の中にいた2人の大人がぐったりした女性を抱え込みました。みんな壕の中で一言も発せず、ただただ見守るばかりでした。

### ■父義正、無念の自決

父は昭和19年7月、沖縄に召集されました。父は実直で温厚な人でした。幼いころ、家にお風呂はありましたが、父と銭湯によくいったことが楽しい思い出として残っています。出征した沖縄からは数回、便りが来ました。一度、沖縄名物の流し込みの硬い黒糖が届き、母が大切に食べさせてくれたのを思い出します。当時は甘いものを食べることなどほとんどなく、本当にうれしかったです。それと同時に、父は戦地できちんと食べているだろうか。どんな日常を送っているのか。父への思いは募るばかりでした。

8月15日、終戦を迎えても父の安否は分からないままで、無事を祈り続けました。10月になって、6月20日に沖縄県摩文仁の丘にて戦死との知らせがありました。この時の気持ちは記しません。言葉で伝えられるものではないからです。父は「死して虜囚の辱めを受けず」の言葉通り、上官からの命令により、海に飛び込んで自決したようです。35才の若さです。戦争の狂気。悔しくてたまりません。

戦後、沖縄へは行きやすくなり、父に会いたいと6回は訪れています。平和祈念公園内の平和の礎には、父の名前が刻まれており、摩文仁の丘は公園のすぐ目の前です。断崖絶壁の下は、深いグリーン色をした美しい海だと聞いています。しかし何度訪れても、その場所に立つ勇気がありません。父がここから海を見下ろしたとき、家族のことはもちろん、どんな思いを持ち、飛び込んだのか想像すると胸が締め付けられ、涙があふれます。終戦まであと2カ月、生き延びてくれたらよかったのに。考えてもどうしようもないと分かっていますが、どうしても考えてしまうのです。

#### ■敗戦、終わらぬ苦しみ

父の戦死で私たち家族は、母と12才の私を頭に10才、6才、2才の女ばかりになりました。敗戦後の混乱期を、母一人の手で子どもを育てなくてはならず、2歳の妹は、父の知人に預けられました。母は食糧の買い出しに農家をあちこち回っていました。お米を手に入れるために、着物も殆ど持って行ったようです。それでも、芋や芋づる、コーリヤン、フスマなどで飢えをしのぐ毎日でした。

そのうち母が栄養失調で病に倒れ、その頃流行していたチブスにかかり、6才の妹律子にまで移ってしまいました。律ちゃんは姉から見ても賢くて手のかからない子でした。小さい体の律ちゃんは、食事も取れずだんだん栄養失調になり、餓死してしまいました。亡くなる直前の律ちゃんの姿が忘れられません。布団の中から骨ばかりの両腕を出し、両手のひらをすり合わせながら、丸い小さなお団子を表現して「こうして、こうしたまるい団子が食べたい」と消え入るような声で、涙を流したのです。いまの平和な日本なら助けられた命です。残念で悔しくて、なによりの命を守ることができなかった無力さを呪わずにはいられません。

母は今年8月で103才になります。最近、父のことはめったに話さなくなりましたが、餓死した妹のことは、可哀想なことをしたと涙します。100歳を超えてなお、戦争が刻んだ心の傷に苦しむ母がかわいそうでなりません。母があの世界に行くときには、妹には団子、父には好きだった焼酎、そして母にはきれいな着物をお土産に持たせます。

戦争によって、私たち家族のような苦しみを味わった人は、日本中にたくさんいます。戦争の犠牲になるのは無辜(むこ)の市民です。同じ過ちを繰り返してはなりません。私は絶対に戦争を許しません。

(了)

## 青い空青い海 神戸・舞子へ つどいに参加しませんか

先月お知らせしました「全国のつどい」の申込は7月25日(月)までとなっています。

全国の、同じ思いの、たくさんの人と、学び、泣き、笑い、そして楽しむ、これも例会を続ける力となっている「つどい」です。詳しくは先月お送りしました要項をごらんください。

参加希望の方は亀田さんまでお知らせください。

## 7・8・9月例会等のお知らせ

・7月22日**料理教室**はレモンケーキと冷汁です。各自ご飯をご持参ください。参加される方は、加世田さんまで実費などお問い合わせください。

・7月31日シーガイアにて**フリーマーケット**に参加します。出品していただけるものは20・22・27日に事務所に持ち込みお願いします。その他の日は亀田邸にお届けください。当日は現地にて集合・準備が8時からです。元オーシャンドームの立体駐車場、興味のある方は是非どうぞ。

**8月は「つどい」参加のため、例会はありません。また、9月・10月例会、場所にご注意ください。**

・9月10日(土)・10月8日(土) 13時00分~16時30分  
宮崎市民プラザ 4階 小会議室 例会

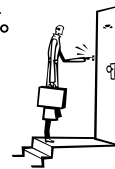
訪問 (アウトリーチ)

まずはご相談を。

ご希望の方は 090-7458 - 0926

(亀田) まで。

実費をいただきます。



### 今後の例会等日程

7月31日	シーガイアフリーマーケット 8時から
8/27・28日	第21回 登校拒否・不登校問題 全国のつどいin兵庫
9/10(土)	宮崎市民プラザ 4階 小会議室 例会
10/8(土)	宮崎市民プラザ 4階 小会議室 例会

相談

財政の都合により相談料をいただくことになりました。ご理解ください。

会員外 3,000円

会員 2,000円

### 7/8/9月スケジュール

日	月	火	水	木	金	土
17	18	19	20	21	22	23
			チャオ		料理教室	
24	25	26	27	28	29	30
			チャオ			
31	8月	夏	休	み		27
フリマ			チャオ休み			つどい
28	29	30	31	9月	2	3
つどい			コープ 発送作業			
4	5	6	7	8	9	10
			チャオ			例会
11	12	13	14	15	16	17
			チャオ	発送作業		

28年度の会費納入をお願いします。

年会費 3,000円 内訳(会費・寄付・その他)をお書きください。

郵便振替口座

口座番号 01780-1-132375

口座名称 コスモス会

他金融機関からの振り込みは 一七九(イチナナキュウ)店(179)当座0132375